

西小学校の令和7年度が始まりました

4月7日（月）新任式・始業式に引き続き、入学式を行い21名の新入生と2名の転入生を迎え、192名の子どもたちと新しい学年・新しいクラス、新しい担任の先生とで、船出して三週間が経ちました。新しい教科書を手にした子どもたちは、何だかとてもうれしそうに見えます。きっと「今年もがんばるぞ!」「〇〇をできるようになるぞ!」といった気持ちを多くの子どもたちがもってくれているようです。とても頼もしく思えます。私たちも、ご家庭と連携して、子どもたちのワクワク感や意欲・向上心をより高め、それぞれの成長につなげるべく支援して行きたいと思います。これからも保護者、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。



【入学式の呼名で元気に返事をする新入生】

授業参観・懇談会への参加ありがとうございました

4月16日（水）・18日（金）、今年度最初の授業参観懇談会を開催しました。両日ともたくさんの保護者の方に来校していただきました。西小の子どもたちや先生方が、がんばっている様子をご覧いただけましたでしょうか？

授業中に保護者の方を見つけた子どもが、周りの様子を気にしつつも保護者の方に手を振る姿は、何ともかわいらしい光景でした。今後も学校では様々な行事等ありますので、お時間等の都合がございましたら、是非、参加していただけますと幸いです。

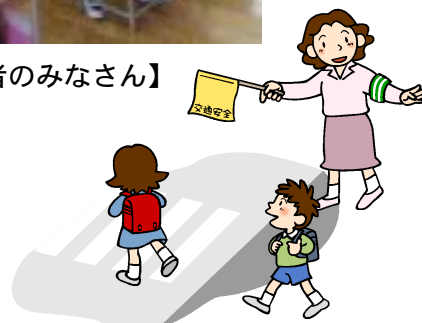


【教室にはたくさんの保護者のみなさん】

春の交通安全運動・朝のあいさつ運動

春の交通安全運動が始まりました。朝の交通指導員さん、民生委員・主任児童委員の皆様、保護者の皆様の見守りや子どもたちへの「おはようございます!」等のお声がけに本当に感謝しております。特に、新年度を迎えたこの時期は、西小でも登下校時の子どもたちの安全の確保について、様々な機会を捉えて、指導しております。登下校時に地域の方々にも子どもたちを見かけましたら、見守っていただければありがたいと思います。もし、危ない場面を見かけることがございましたら、是非、その場で子どもたちに声をかけてください。

以前、交通指導員の方から「朝は、比較的多くの見守りがあるが、下校時は大人の目が少なく、子どもたちもおしゃべりに夢中になっており、注意力が散漫になりやすい。」といった「下校時が心配!」のご指摘をいただきました。ありがたいご指摘です。小さい子どもたちは、学童や保護者のお迎えがありますが、中学年以上で一人で帰る子どももおります。そのような子どもたちが見られましたら、地域の方々にも見守っていただければ幸いです。



【朝のあいさつ9区のみなさん】

<お知らせ>

右のQRコードから西小のWebページをご覧くださいと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。



西小ホームページ

西小の取組紹介①

今年度もがんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！

今年度も中学校から図工・英語（ALT）の先生をお招きして

教科の専門性を活かした授業を実践しています！

文科省への中央教育審議会答申において、外国語教育の導入やプログラミング教育等が追加され、学習指導内容の多様化や高度化等に対応するため、「小学校高学年からの教科担任制を本格的に導入する必要がある」とされたことを踏まえ、今年度、西小では、高学年を中心に先生方のそれぞれの専門性を活かした教科担任制の授業を増やすなどしています。今までは、学級担任の先生が、多くの教科を担って授業を進めていましたが、それぞれの先生方の専門教科や得意分野を活かした授業を行うことで、①授業の質の向上／子どもたちの学習内容の理解度・定着度の向上、②小・中学校間の円滑な接続／中一ギャップの解消、③多面的な児童理解／きめ細かな指導、につなげようとするものです。



【中学校美術の先生による5年生図工の授業】

「1年生を迎える会」を開催しました！



【6年生と手をつないで入場】

4月24日（木）「1年生を迎える会」が開催されました。今年度、新たに西小に迎えた21名の1年生のみなさんが、少しでも早く西小学校に慣れて、毎日楽しく学校生活が送れるように児童会のお兄さん、お姉さんたちが中心となり企画されたものです。

学校では、たくさんのお話を学び、友だちといっぱい遊ぶことができます。

困ったことや分からないことがあれば、先生や上級生のお兄さん、お姉さんに何でも聞いてほしいと思います。ご家庭でも、学校での様子をたくさん聞いてあげてください。その中で、子どもたちが、がんばっていることがあればたくさん褒め、困っている様子が見られた場合は、早めに学校へお知らせください。



【あいさつ運動をクイズで紹介】

校長室から

退任式で感じた・・・「子どもたちと先生方の絆」

3月26日。昨年度の修了式後の「退任式」。子どもたちと西小を去られる先生方とのお別れの会が行われました。私は4年ほど学校を離れて県行政にいましたので、久しぶりの退任式の参加でした。異動される先生方が校長から一人ずつ名前を呼ばれ、子どもたちの前に立つ。その都度、起こる子どもたちの悲鳴のような（悲しい）声。中には号泣する子もいました。その様子を見て私は、胸が痛くなりました。おそらく西小を去られる先生たちも、きっとせつない気持ちだったでしょう。私たち大人の一年と、子どもたちの一年には大きな違いがあるように思います。この一年、一緒に喜び、時に子どもたちの壁となって、苦勞を乗り越えて来た関係性があったから「退任式」に、子どもたちが素直な気持ちで表現してくれたのだと思います。きっと子どもたちにとって濃密な一年だったのでしょう。昨今、人間関係の希薄さが問題になったり、教員希望者が大きく減少したりするニュースや報道を見聞きしますが、時代は変わっても子どもたちと先生の関係は変わらないのだと実感するとともに、「先生」という職業は、苦勞はあれど、がんばればその分、報われる職業なのかも・・・。子どもたちの成長に関われる「こんな素敵な職業は、そんなになんかなあ・・・」と勝手に思っていました。今年度も西小の先生方は、子どもたちのために、がんばってくれる方々ばかりです。保護者の方々や地域の皆様の応援があれば、さらにモチベーションが高まると思います。これからもどうぞよろしくお願いします。

